

# 除菌剤ビエリモ スプレー噴霧による除菌検証

2019.9.3  
南沢

## 試験内容

除菌剤ビエリモ専用スプレーにて噴霧を行い、まばらに付着した時の細菌の確認。  
更に、スプレー後ふき取り作業にて全面にビエリモを行き渡らせた際の菌数の検証をおこなう。  
比較としてアルコール製剤(アルペットE)を使用し同様の試験を行う。

試験実施 2019.9.2 信州大学繊維学部内AREC14号室にて実施

## 使用する細菌

明治製菓BN菌(芽胞菌)を使用。(ボツリヌス菌、ウェルシュ菌、セレウス菌等の細菌と同様)

## 使用する培地

標準寒天培地(DAIGO)日本製薬(株)を使用



## 試験方法

8皿のステンレストレイ(120×160)に芽胞菌0.1CC(10<sup>5</sup>)を塗布。  
この試験トレイをA~Hとする。

### ●トレイ A・B

ビエリモをスプレー1回噴霧(約1CC)後乾燥、綿棒にてふき取り20ccの精製水にて攪拌  
その試験液0.1CCを寒天培地に塗布し36℃にて培養後菌数を測定。

### ●トレイ C・D

ビエリモをスプレー1回噴霧(約1CC)後、キッチンペーパーにてふき取りその後、乾燥。  
綿棒にてふき取り20ccの精製水にて攪拌その試験液0.1CCを寒天培地に塗布し36℃にて  
培養後菌数を測定。

### ●トレイ E・F

アルコールをスプレー1回噴霧(約1CC)後乾燥、綿棒にてふき取り20ccの精製水にて攪拌  
その試験液0.1CCを寒天培地に塗布し36℃にて培養後菌数を測定。

### ●トレイ G・H

アルコールをスプレー1回噴霧(約1CC)後、キッチンペーパーにてふき取りその後、乾燥。  
綿棒にてふき取り20ccの精製水にて攪拌その試験液0.1CCを寒天培地に塗布し36℃にて  
培養後菌数を測定。

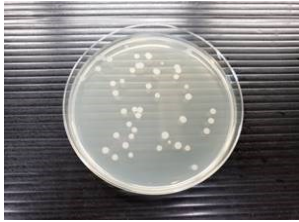
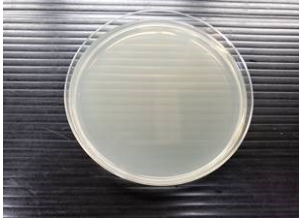
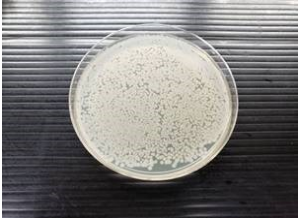
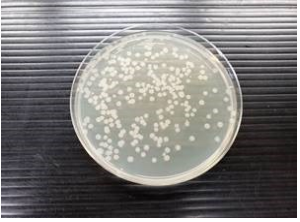
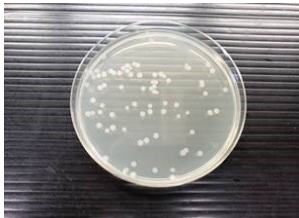
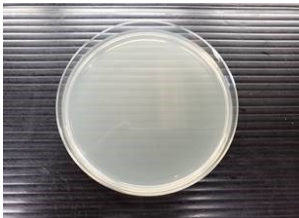

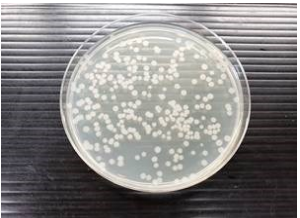
培養器(36℃)にて24時間培養後コロニーを測定

コントロール  
約2000コロニー



## 結果

ビエリモをスプレーするだけでは、細菌を残してしまうが、  
スプレー後に、ペーパー等で液剤を全体に行き渡らせて  
ふき取ることにより細菌を死滅させることが可能である。

ビエリモス プレーのみ	ビエリモ スプレー後ふき取り	アルコール スプレーのみ	アルコール スプレー後ふき取り
A. 43コロニー 	C. 0コロニー 	E. 約2000コロニー 	G. 160コロニー 
B. 65コロニー 	D. 0コロニー 	F. 約800コロニー 	H. 150コロニー 

試験中写真

ステンレストレイにて試験

